

北山だより

北山湿地は、岡崎市自然環境保全条例に基づく自然環境保護区に指定されています。湿地およびその周辺でのすべての動植物の採取等の行為は禁止されています。これに違反した場合は、30万円以下の罰金が科せられる場合があります。貴重な自然環境の保護にご協力ください。

北山湿地を守る活動

【4月の作業内容(18日(土)9時～12時(参加26人))】湿地およびその周辺の観察会。

秘密の花園に
多様な動植物を守る
岡崎の北山湿地

保護の会中心に活動

♣上の写真は、5月5日付中日新聞三河版のトップに掲載された、おかざき湿地保護の会の名倉正志会長へのインタビューを中心とした記事です。東三河でも掲載されましたので、その方面から湿地を訪れた人もいました♣4月の保全活動は、作業はお休み。湿地入口から点在する各湿地、湿地の水源となる山々を走る尾根道などを参加者全員でぐるり1周しました♣植物や生き物の観察と確認、今後の保全活動で検討すべき問題点のチェックなどが目的です♣初めての試みでしたが、普段あまり行

く機会の少ないルートを散策でき、さまざまな意見も出て、有意義な観察会でした。

北山湿地へのご意見ご感想

〈4月12日開催の観察会参加者から〉ハルリンドウの色が鮮やかだった▼ヒメタイコウチを守ってほしい▼タベサナエの羽化が見られて良かった▼初めての参加で、いろいろな草花、生き物に出会えてうれしく思った▼岡崎にこんなに立派な湿地があることに感動した▼折々に見に来たい▼ササユリが遊歩道にまで伸びてきている。踏まれそうなので保護できると良い▼樹木の名前を書いた木札があったらいいと思う▼(観察ポイントに)冊子※のページ表示があると良い▼岡崎市内にこんな湿地が残されていることをうれしく思った▼今後も観察会に参加したいと強く感じた▼池金町内に住んでいながら一度も来たことがなかった。チャンスがあれば一度来てみたいと思っていたので本当に良かった▼いろいろお話が聞けて良かった▼今後、地元の人をお誘いして来てみたいと思う▼整備状態がとても良いと思ったが、これからもできる

だけ自然のままを保存して欲しい▼手を入れすぎないようにしてほしい▼何度きても目新しく勉強になる▼知って帰る喜びを感じる▼この次も参加したいと思う▼良い企画をしていただきました▼参加して大変楽しかった▼秋もこの様な企画をしてほしい。※観察会参加者に限り渡している小冊子「北山湿地」。〈一般来訪者から(4～5月)〉花に看板をつけない方が良いと思う(盗難が心配であるため)▼よく整備されており良い雰囲気のところ。また来たい▼静かで、川の音、風の音、鳥の声などが好き。本当に一日いても飽きず、心を癒されるところが良い。これからも守っていきたい大切な場所▼ギフチョウを大切にしてほしい。ギフチョウが生息していることは、あまり広報しない方が良い。

《観察会参加者へのアンケート結果》【回答数】15人【性別】男性…8人 女性…7人【年齢】30代…1人 40代…1人 50代…6人 60代…4人 70歳以上…3人【北山湿地訪問は何回目か】初めて…9人 2回目…3人 3回以上…3人【北山湿地を何で知ったか】知人から…3人 観察会…3人 新聞・雑誌…2人 その他…7人(市政だよりなど)【北山湿地の良い点・好きな点(複数回答)】花…11人 生き物…8人 樹木…6人 ミズゴケ…2人 整備状況…1人 その他…1人(涼しかった)【北山湿地の悪い点・改善すべき点(複数回答)】トイレ…2人 看板…6人 駐車場…2人 木道…1人

【「(仮称) わん Park」愛称募集中!】子どもたちが自然と触れ合いのびのびと遊べる場所。平成22年10月、淡淵町に完成予定▼6月7日まで▼主な公共施設に専用応募箱あり▼詳しくは市政だより5月1日号または水とみどりの森の駅ホームページで。問い合わせは自然共生課森の駅推進班まで。※森の駅6月のプログラムは市政だより5月15日号または森の駅ホームページで。

北山観察会のご案内

岡崎市は、北山湿地の特色ある植物や昆虫などの観察会を開催します。【日時】6月13日(土)9時～正午(雨天時は翌14日)【講師】大平仁夫先生(農学博士)、千賀敏之先生(元新編岡崎市史調査委員)【定員】30人(超過の場合、抽選)【持ち物など】筆記用具・飲み物、ハイキングのできる服装(長袖)・長靴【申し込み方法】はがき・FAX・Eメールに、郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入し、岡崎市自然共生課へ。6月1日(月)必着。受付後、詳細な案内を送付。参加無料【問い合わせ】同課自然保護班まで(連絡先は本紙表面欄外に記載)

自然ふれあい地区の指定

岡崎市はこのたび、岡崎市自然環境保全条例に基づく「自然ふれあい地区」の第1号として、「かたのササユリの里育成会」が保護・育成しているササユリ群生地2ヶ所を指定しました。

愛知県が生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)に向けて実施するモデル事業「水田魚道」を設置する県内10団体のひとつに、「千万町茅葺屋敷」を中心に活動している「じさんじょの会」(千万町町)が選ばれました。水辺の生態系復活を目指すもので、5月末までに水田と水路の間に小型魚道を設置し、2年程度、魚道の維持管理、遡上する生き物の調査や観察会などを実施します。(写真は千万町町ではありません)



6月はホタルの季節です

《ホテル案内誘導ボランティア募集》毎年、大勢の見物客が訪れる「鳥川ホテルの里(鳥川町)」。小さな山里が車で埋め尽くされてしまうほどです。見物客や車の誘導、整理、案内を手伝っていただく方を募集しています。【期間】6月5日～21日の間の金・土・日曜のうち参加可能な日 19時～21時【申し込み】電話、FAXで、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・参加可能日を記入し、鳥川小学校まで(☎82-3027 FAX82-3689)。5月29日締め切り。《主なホテル観察会》【鳥川ホテルまつり】長年にわたりホテルの保護活動に取り組んできた鳥川小学校は、平成21年度をもって廃校となります。最後の児童たちによる活動発表です▼6月13日(土)17時30分～(雨天決行)▼ホテル保護活動の発表、オカリナミニコンサート、ホテル観賞会▼参加無料▼申し込み不要、当日会場の鳥川小学校へ。【茅葺の里ホテルを見る会】日本の原風景に会えるかも▼6月27日(土)19時～(雨天中止)▼弁当、飲み物、懐中電灯持参▼先着50人、参加無料▼電話で千万町茅葺屋敷まで申し込み(☎83-2590 火曜定休)。※おかげさ自然体験の森でも開催予定。各行事の詳細については市政だより5月15日号や森の駅・鳥川小学校ホームページなどご確認ください。

同条例では、身近で良好な自然環境を有し、市民が自然と触れ合える区域を自然ふれあい地区に指定できることが定められています。指定されますと、市と市民協働による、地区の環境整備や自然環境の保全・創出・活用を実施していきます。

かたのササユリの里育成会は、

かつてのようにササユリがつましやかに咲く姿を再現したいという熱意から平成12年に発足しました。今後、同会により、形埜地区内に生育するササユリの保護・育成のための調査・研究や群生地の整備活動が行われ、自然との触れ合いを通して自然環境の保全が図られていきます。



花穂の長いのはノダフジ。つるが右巻きに巻き上がる。ノダフジの由来は、大阪の野田という産の場所からついた名だそう。一方、花穂の短い方はヤマフジといい、左巻きで、双方は森に普通であるという。しっかり見てもある。公園の藤の株は木くてこついが、山の中にも巨樹と間違っうほどの株がある。はじめは細い木に巻きつき、やがて親木を絞め倒し、林縁の梢に枝を張る。初夏に一面黄の花を咲かせる。山仕事をしている人に花の見事さをほめるど手入れの思いを指されたど嫌がられるが……。

五方石藤は花穂が長い。一メートルを越すほど長く見事。しかし、山裾の水々からんで吹くフジは、花こそ大きい花数が少ない。花穂も短いが、花穂が長いのは品種改良によるものと思っしたが、そうではないらしい。つるの巻き方まで違っている。野生のものでも花穂の長いものもある。

『花々の小径 切り絵 森の樹木歳時記』絵と文・竹内昭次

秦梨小学校校長を務められ河合中学校ではゲン



ジボタルの繁殖に尽力された竹内昭次先生による手作りの本です。おかげさ自然体験の森で見られる樹木約80種を紹介したもので、先生の趣味である切り絵と、簡潔でわかりやすく、なおかつ詳細に特徴を表した文章が何よりも魅力です。湿地保護の会をご指導いただいている農学博士の大平仁夫先生もご推薦の1冊。在庫はありませんが、岡崎市自然共生課で閲覧はできます。問い合わせは同課自然体験推進班(☎23-6671)まで。